

2022年度 埋設事業部  
防災訓練実施計画書  
(案)

日本原燃株式会社  
埋 設 事 業 部

## 2022年度 廃棄物埋設施設 防災訓練実施計画書（第1部）

## 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、原子力災害に対する緊急時対応能力の習熟・向上を図ることを目的とする。

また、本訓練は、「埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画（2021年度～2024年度）」に基づき、加工施設との同時発災および現実的なシナリオ想定のもとで、情報発信能力および緊急時対応能力について確認する。

具体的な達成目標および検証項目は以下のとおり。

## (1) 「全社対策本部との情報共有ができること」

達成目標：全社対策本部に対して情報共有ツールを用いて、適宜情報共有できること

検証項目：①現場－緊急時対策所－全社対策本部間の情報共有が情報共有ツールによりタイムリーに共有できること

②情報フローに定めるとおりに、各要員が適切なタイミングで必要な情報を提供できること

## (2) 「現場と緊急時対策所が連携できること」

達成目標：手順に基づき、事象収束活動ができること

検証項目：現場と緊急時対策所と連携を図り、収束活動に必要な要員、資機材、時間で事象収束活動が実施できること

## (3) 「その他制約条件への対応能力の向上」

達成目標：原子力防災管理者が不在の場合においても、対策本部の対応能力に支障がないこと

検証項目：原子力防災管理者が不在の場合においても、あらかじめ定められた代行順に従って組織の指揮・命令、適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、全体統括ができること

## 2. 実施日時および対象施設

## (1) 実施日時

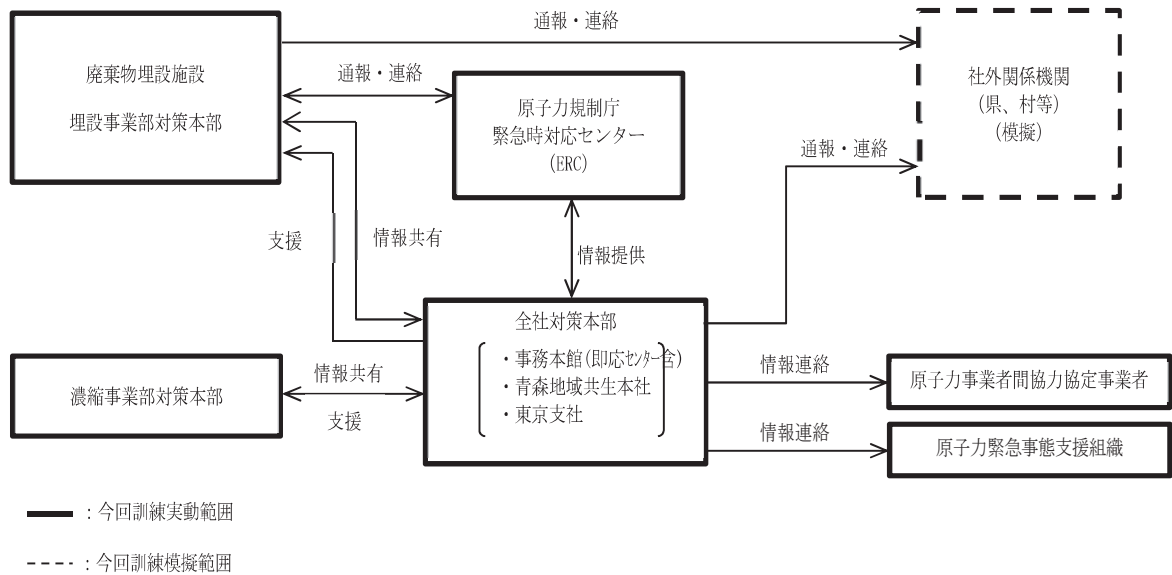
2022年11月8日（火）9：30 ～ 12：00（予定）（反省会含む）

## (2) 対象施設

廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

各活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

埋設事業部対策組織要員

### 4. 訓練項目

総合訓練

### 5. 訓練内容

- (1) 通報訓練
- (2) 救護訓練
- (3) モニタリング訓練
- (4) 避難誘導訓練
- (5) その他必要と認める訓練
  - a. 事業部対策本部対応訓練
  - b. 現場対策活動訓練
  - c. 全社対策本部等との連携訓練

## 6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要



## 7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者（現場対応者含む）は、原則マスク着用とする。（ただし、防護具類着用時は除く。）
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

## 8. 添付資料

1 - (1) : 廃棄物埋施設 防災訓練 第1部シナリオフロー

以 上

## 2022年度 廃棄物埋設施設 防災訓練実施計画書（第2部）

## 1. 訓練目的

本訓練は、「濃縮・埋設事業所 埋設事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に基づき、実施するものである。

また、本訓練は、「埋設事業部対策組織 原子力防災訓練中期計画（2021年度～2024年度）」に基づき、原子力災害発生時において手順に基づく情報発信ができることについて確認する。

具体的な達成目標、検証項目は以下のとおり。

## (1) 「確実な通報・連絡ができること」

達成目標：手順に基づき、所定時間内に通報連絡が実施できること

検証項目：①適切な通報様式を用いて、所定時間内に通報・連絡ができること

②通報文チェックツールを用いて、通報文の発信前確認ができること

③事象進展に応じて、適切な間隔で第25条報告ができること

## (2) 「事業部対策本部と全社対策本部間の情報共有ができること」

達成目標：EAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有できること

検証項目：適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有ツールによる情報共有ができること

## 2. 実施日時および対象施設

## (1) 実施日時

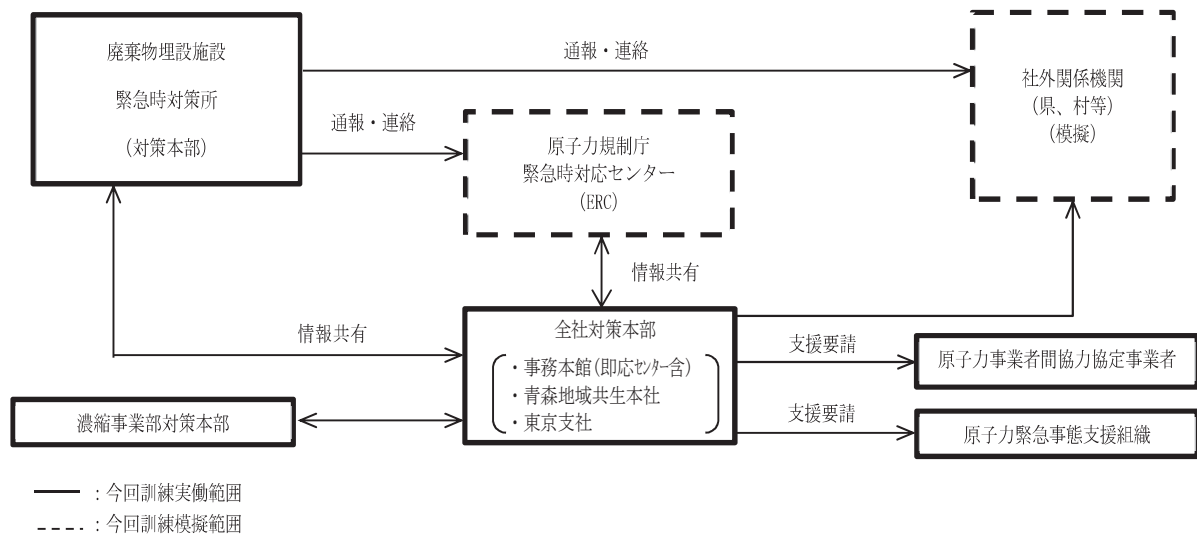
2022年11月8日（火）13：30～15：00（予定）（反省会含む）

## (2) 対象施設

廃棄物埋設施設

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制



#### (2) 評価体制

活動場所に評価者を配置し、評価者による評価および訓練終了後に訓練参加者による訓練反省会等を通じて、改善事項の抽出を行う。

#### (3) 訓練対象者

埋設事業部対策組織要員のうち本部員、本部事務局

### 4. 訓練項目

総合訓練

### 5. 訓練内容

#### (1) 通報訓練

#### (2) その他必要と認める訓練

a. 事業部対策本部対応訓練

### 6. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

訓練シナリオ情報を含むため非公開

訓練シナリオ情報を含むため非公開

7. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の対応を実施する。

- ・ 訓練参加者は、原則マスク着用とする。
- ・ 緊急時対策所内で活動する要員は可能な限り人数を制限して対応するものとする。
- ・ 緊急時対策所内は換気を実施するとともに、座席には可能な範囲で仕切りを設置する。

【添付資料】

添付資料 2 - (1) : 廃棄物埋施設 防災訓練 第2部シナリオフロー

以 上

廃棄物処理施設 防災訓練 第1部シナリオフロー (1/2)

目安時間	事象発生	ERCプロセス等 ERC対応者	対策本部	緊急時対策所	管理棟 制御室	管理棟 管理区内	管理棟 管理区外	埋設地	
				本部事務高、放射線管理班、復旧班、技術班 総務班、教護班	復旧班	復旧班	教護班	復旧班	復旧班
9:30									
9:34									
9:40									
9:50									
10:00									

訓練シナリオ情報を含むため非公開

【検証ポイント①】  
現場－緊急時対策所－全社対策本部間の情報共有が情報共有ツールによりタイムリーに共有できること

【検証ポイント②】  
情報フローに定めるとおり、各要員が適切なタイミングで必要な情報を提供できること

【検証ポイント③】  
現場と緊急時対策所と連携を図り、収束活動に必要な要員、資機材、時間で事象収束活動が実施できること



自定時間	事象発生	ERCブース特 ERC対応者	緊急時対策所 対策本部	緊急時対策所 本部専務高、放射線管理班、復旧班、夜間班 総務班、救護班	管理班 制御室 復旧班	管理班 管理区域内 復旧班	管理班 管理区域外 救護班	管理班 復旧班	管理班 復旧班	管理班 復旧班	管理班 放射線管理班
10:10											
10:20											
10:30											
10:40											
10:50											
11:00											
11:10											

訓練シナリオ情報を含むため非公開

【検証ポイント①】  
現場 - 緊急時対策所 - 全社対策本部間の情報共有が情報共有ツールによりタイムリーに共有できること

【検証ポイント②】  
情報フローに定めるとおり、各要員が適切なタイミングで必要な情報を提供できること

【検証ポイント③】  
現場と緊急時対策所と連携を図り、収束活動に必要な要員、資機材、時間で事象収束活動が実施できること

目安時間	事象発生	緊急時対策所			
		ERC対応者 (実働)	対策本部 (実働)	本部事務局 (実働)	各対策班 (コントロール)
13:30					
13:35					
13:40					
13:45					
13:50					
13:55					
14:00					
14:05					
14:10					

訓練シナリオ情報を含むため非公開

目安時間	事象発生	緊急時対策所			
		ERO対応者 (実働)	対策本部 (実働)	本部事務局 (実働)	各対策班 (コントローラ)
14:15					
14:20					
14:25					
14:30					
14:35					
訓練シナリオ情報を含むため非公開					
【検証ポイント①】 適切な通報様式を用いて、所定時間内に通報・連絡ができること		【検証ポイント②】 通報文チェックツールを用いて、通報文の発信前確認ができること		【検証ポイント③】 事象進展に応じて、適切な間隔で第25条報告ができること	
【検証ポイント④】 適切なタイミングでEAL判断および防災体制を発令し、全社対策本部へ情報共有ツールによる情報共有ができること					

## 前回訓練の訓練課題を踏まえた訓練実施計画等の策定

### 【埋設事業部対策組織】

2021年度 原子力防災訓練において抽出した「COPの更なる改善」に対する改善活動状況は以下のとおりである。【第1部訓練および第2部訓練 共通事項】

NO.	改善活動内容			検証計画
	今回の総合訓練において抽出した主な改善点	原因	対策/対応状況	
1	<p><b>【問題】</b> 復旧班のCOP③（戦略シート）に記載された優先順位毎の応急処置完了予定時刻が何度も変更されていた。</p> <p><b>【課題】</b> それぞれの応急処置に対する完了時刻（予定）の記載方法（装備の脱着時間や作業間の準備時間など考慮すること）を明確にすること。</p>	<p>最初に作成するCOP③（戦略シート）の完了予定時刻を見積もる際に、作業工程（戦術）の中にゴム手袋の脱着作業や次工程に移行するための作業などの時間を考慮していなかった。</p>	<p>技術班は、作業開始から終了までの定義を明確にし、COP③（戦略シート）の記載に関するガイドに反映した。</p>	<p>検証計画：○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。</li> <li>・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</li> </ul>
2	<p><b>【問題】</b> COP資料の字が細かく、情報量が多いため、事象内容やその対応を把握しづらかった。</p> <p><b>【課題】</b> COPの視認性を向上させること。</p>	<p>COP①（施設状況図）は、1枚で事象進展や対策状況が把握できるようなシートにしていたため、文字の大きさや視認性への配慮が不十分であった。</p>	<p>復旧班は、COP①（施設状況図）の他COP（戦略シート、低レベル廃棄物管理建屋 他）の文字の大きさや記載方法に関する手順の充実を図った。また、視認性向上のため、加工施設とレイアウトの整合を図った。</p>	<p>検証計画：○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。</li> <li>・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</li> </ul>
3	<p><b>【問題】</b> 1件の火災発生箇所に対し、COP②（低レベル廃棄物管理建屋1F）の異なる2か所に吹き出しを記載したため、複数の場所で火災が発生したと誤解が生じるおそれがあった。</p> <p><b>【課題】</b> 火災発生箇所や現場の状況を正しくCOPに反映できること。</p>	<p><b>【原因】</b> COP②-2に火災発生箇所や現場の状況を記載する方法を明確にしていなかった。</p>	<p>復旧班は、COP②-2（低レベル廃棄物管理建屋1F）に発災状況を示す際、誤解が生じないよう吹き出しを1事象ごとにまとめる方法を、ガイドに反映した。</p>	<p>検証計画：○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の訓練にて実働することにより評価可能。</li> <li>・改善策の有効性を確認するための確認事項（チェックリスト）にて評価する。</li> </ul>